

名証IRセミナー オンライン 個人投資家向け企業説明会

2026年6月8日
成友興業株式会社
(名古屋証券取引所メイン市場:9170)

1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション/事業内容/当社グループの特徴)

4

2

2026年9月期 第2四半期実績

8

3

2026年9月期 第2四半期セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

11

4

株主還元策について

19

1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション/事業内容/当社グループの特徴)

4

2

2026年9月期 第2四半期実績

8

3

2026年9月期 セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

11

4

株主還元策について

19

会社概要

会社名	成友興業株式会社
設立	1975年3月12日
本社	東京都あきる野市（本店は東京都中央区）
代表者	代表取締役社長 細沼順人
資本金	376,620千円（2026年3月末現在）
従業員数	連結368名（2025年9月末現在）
事業内容	環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業・ その他の事業

パーパス

「次世代のために、社会に資する。」

ミッション

地球環境にやさしい都市更新を支える企業を目指す。

当社グループの事業内容について



環境事業

建設廃棄物および汚染土壌等の
収集運搬・中間処理・再資源化

成友興業(株)環境事業部
成友エコプラスワン(株)、成友マテリアルワン(株)



建設事業

公共事業の施工管理
(工程・原価・品質・安全・環境管理)

成友興業(株)建設事業部
木本建興(株)、(株)武蔵野トランスポート、令友工業(株)



環境エンジニアリング事業

土壌汚染対策工事
環境計量証明事業・指定調査機関業務

成友興業(株)環境エンジニアリング事業部

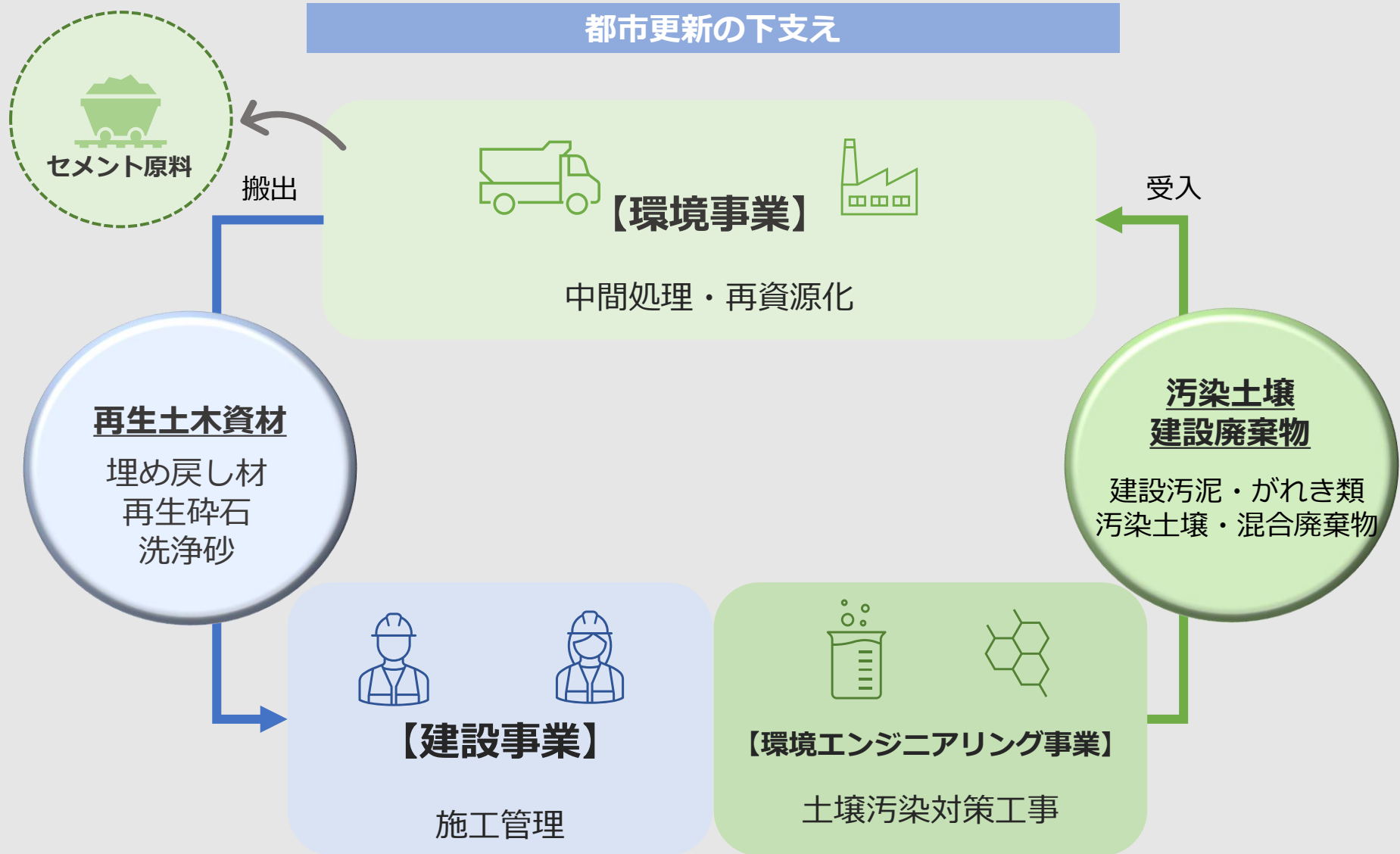


その他（警備事業）

建設現場の警備

成友セキュリティ(株)

当社グループの特徴 ～ 次世代が幸せに暮らせる都市を支えています～



1

会社概要

4

(会社概要・パーパス・ミッション/事業内容/当社グループの特徴)

2

2026年9月期 第2四半期実績

8

3

2026年9月期 セグメント別実績

11

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

4

株主還元策について

19

2026年9月期 第2四半期（累計） 経営成績

- M&Aを行ったグループ各社において事業改革を実施。
（顧客層のアップデート、人材・設備・資金の適正配置等）
- 既存の環境事業においては、建設廃棄物の受入を拡大し、建設事業においては大型工事の受注に注力。

(単位：百万円)	25/9月期 2Q累計	26/9月期 2Q累計	前年 同期比	26/9月期 業績予想	進捗率
	売上高	7,873	9,086	115.4%	17,835
売上総利益	1,461	1,740	119.1%	-	-
販売費及び 一般管理費	802	882	-	-	-
営業利益	658	857	130.3%	1,234	69.4%
経常利益	605	804	132.8%	1,107	72.6%
中間純利益	329	420	127.6%	658	63.8%

セグメント別業績ハイライト

- 環境事業は、建設汚泥や汚染土壌の受入量が増加したことにより**増収増益**。
- 建設事業は、繰越工事が順調に進捗したが、延伸等の影響により**増収減益**。
- 環境エンジニアリング事業は、受注案件数並びに1件あたりの受注金額の増加により**増収増益**。

単位：百万円	25/9期	26/9期	前年同期比
	2Q累計	2Q累計	
環境事業	4,057	4,861	119.8%
建設事業	3,365	3,532	105.0%
環境エンジニアリング事業	203	519	255.7%
その他	247	173	70.1%
調整額	▲38	▲92	—
売上高合計	7,873	9,086	115.4%
環境事業	707	993	140.3%
建設事業	336	328	97.6%
環境エンジニアリング事業	17	42	244.6%
その他	16	4	24.9%
調整額	▲420	▲510	—
セグメント利益合計	658	857	130.3%

※セグメント利益の調整額の内容には、のれんの償却費△109百万円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△384百万円及びセグメント間取引消去△16百万円が含まれております。

1

会社概要

4

(会社概要・パーパス・ミッション/事業内容/当社グループの特徴)

2

2026年9月期 第2四半期実績

8

3

2026年9月期 第2四半期セグメント別実績

11

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

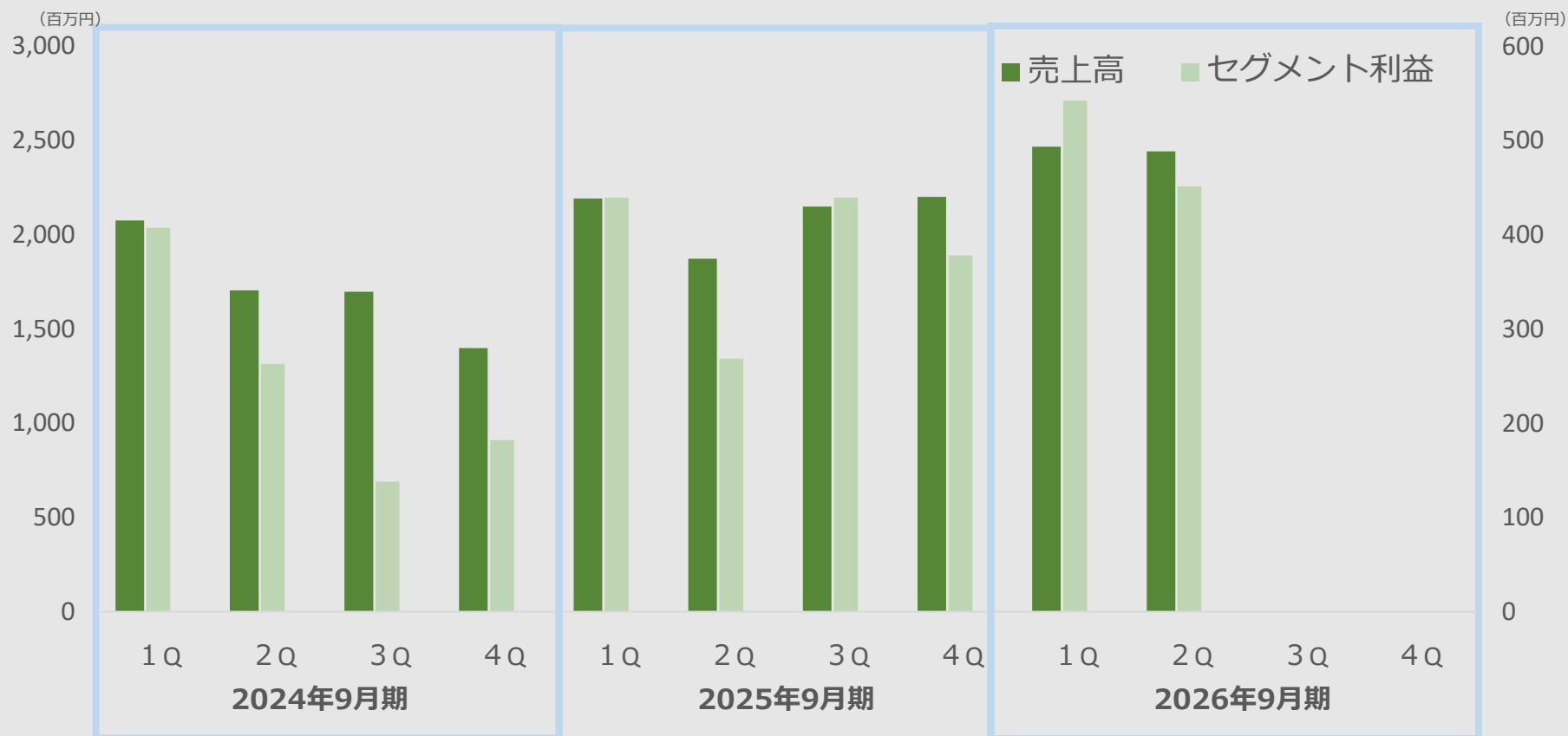
4

株主還元策について

19

環境事業 売上高・セグメント利益の四半期推移

- 売上高、セグメント利益ともに、好調に進捗。
- 建設汚泥、汚染土壌の受入量が前年同期比で2割弱程度増加。
- 再生材である浄化済み土壌の販売量が増加し、利益率も増加。

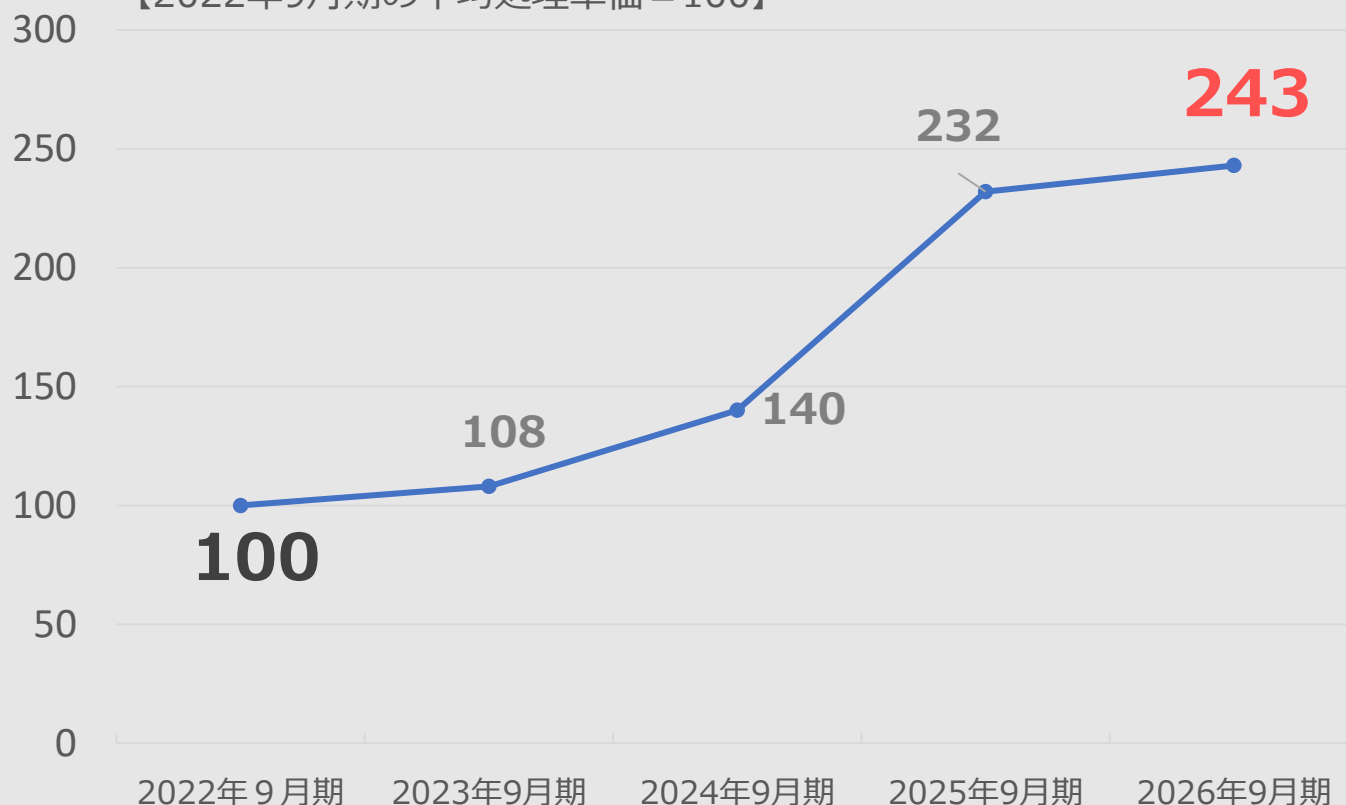


環境事業 成長戦略への取り組み

- あきる野工場において、がれき類の受入単価が上昇した結果、増収増益

平均受入単価の推移

【2022年9月期の平均処理単価 = 100】



環境事業の今後の成長エンジン ~ グループ間連携 ~

あきる野工場



① がれき類の処分並びに
再生砕石の相互支援

成友マテリアルワン(株)川口工場

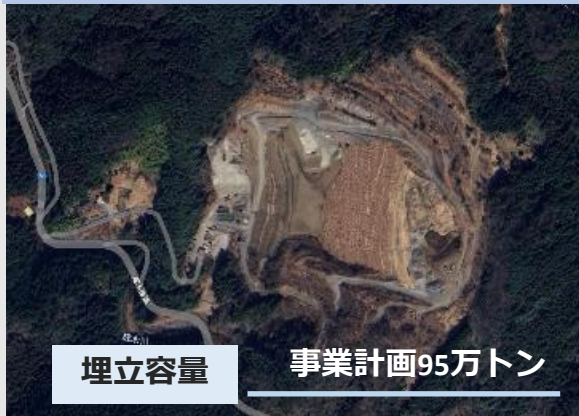


白岡センター (3万2,000㎡)

草加センター (約8,000㎡)

② 建設発生土の
ストックヤード事業

青梅事業所



東京都

城南島工場



② 浄化済み土壌の処分

建設事業 受注高の推移

- 上半期のみで、前年度通期の受注高の96.6%を確保。
- 営業活動の強化や大型化に向けた取り組みが奏功し、約100億円（うち当社請負高約20億円）のJV工事や当社初となる単独で約12億規模の工事を受注。

単位：百万円	22/9期 実績	23/9期 実績	24/9期 実績	25/9期 実績	26/9期 2Q実績	前年比
受注高	4,137	5,424	4,908	7,046	約6,900	96.6%

※22/9期～25/9期実績は、有価証券報告書記載の金額です。

※26/9期（2Q実績）の受注高は、グループ全体の受注高の単純な合計値です。

今年度新規受注案件

※受注金額順（グループ会社含む）

※JV工事は当社請負分を記載。

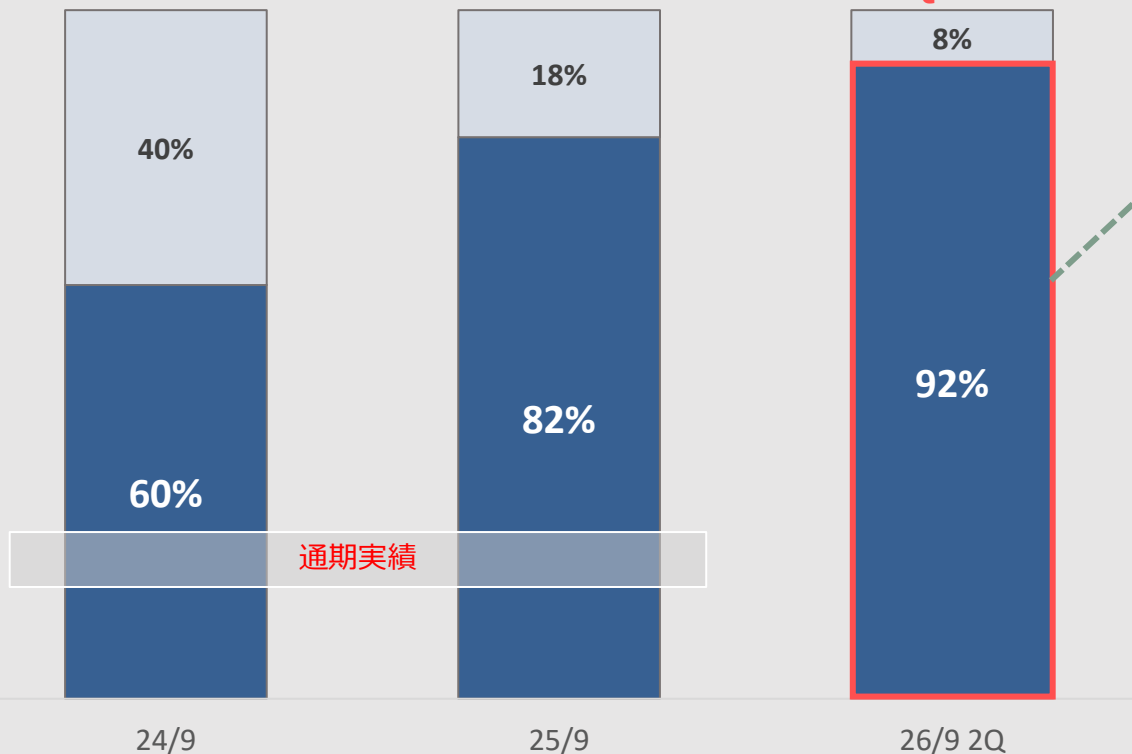
- 東京都水道局 水道施設工事（上部浄水場導送水ポンプJV） 1,947百万円
- 東京都財務局 一般土木工事（南多摩尾根幹線） 1,194百万円
- 東京都水道局 水道施設工事（野上本管） 630百万円
- 相模原市 一般土木工事（A & A JV） 397百万円

建設事業 元請比率向上・工種の多角化を目指して

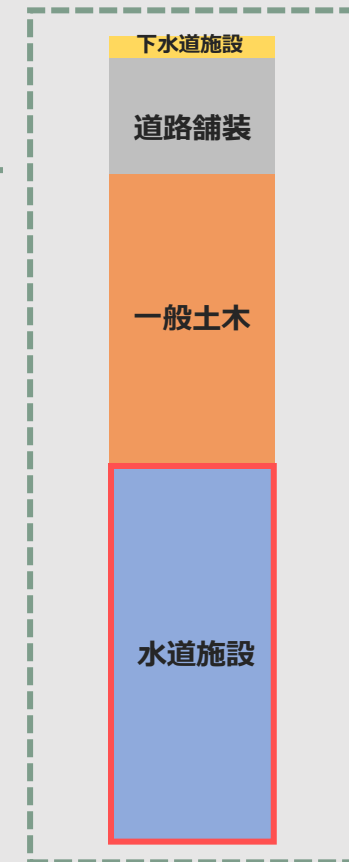
- 大型の官庁元請工事の受注に注力した結果、約9割が官庁元請工事。
- さらに、水道施設工事の受注割合が増加し、工種の多角化への取り組みも継続。

元請比率の推移

■ 官庁 □ 民間



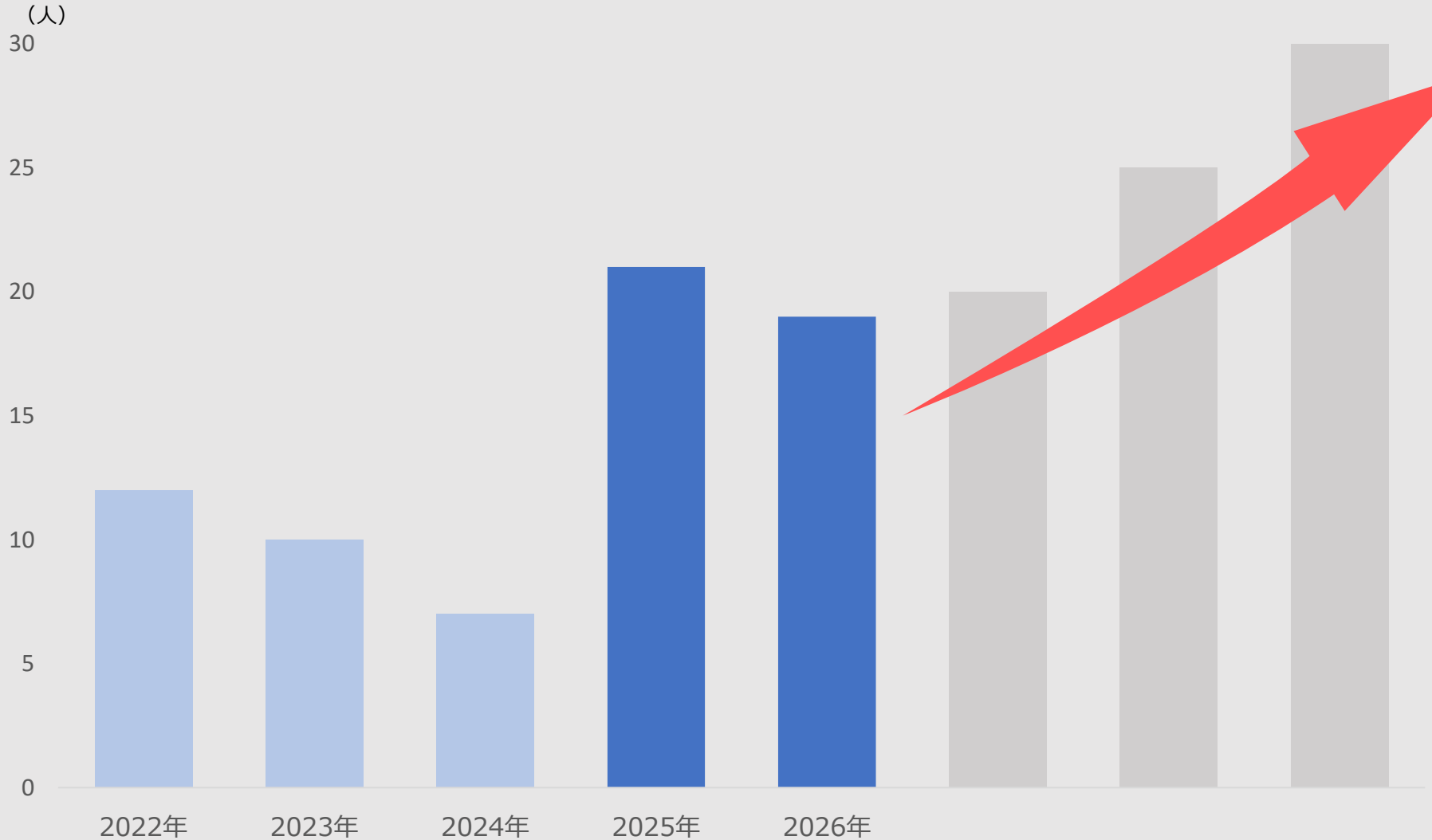
受注における工種別の割合



※26/9期（2Q実績）の受注高は、グループ全体の受注高の単純な合計値です。

建設事業の今後の成長エンジン ～ 次世代人材の確保 ～

新入社員数推移

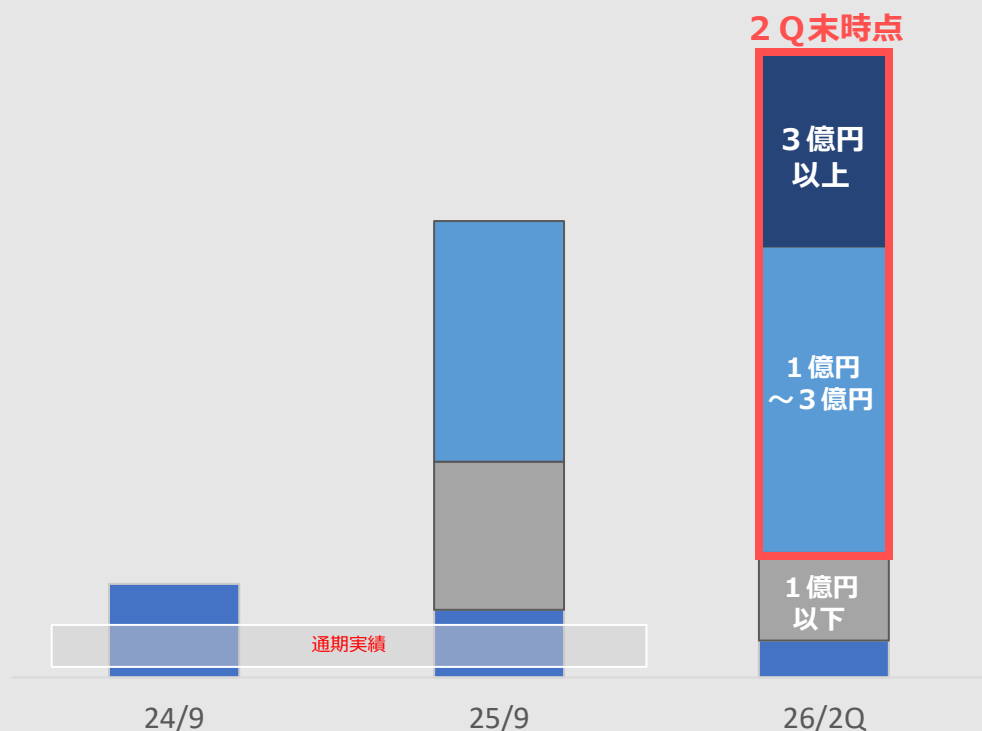


環境エンジニアリング事業 成長戦略への取り組み

- 工事案件の**大型化に注力**し、1件当たりの受注金額が増加
- 顧客のニーズに合わせて、提供できる**工法の多角化**に努め、**原位置浄化工法**による対策工事案件を受注

請負金額別受注高の推移

■ 5,000万円未満 ■ 5,000万円～1億円 ■ 1億～3億円 ■ 3億円以上



受注における工種別の割合



1

会社概要

4

(会社概要・パーパス・ミッション/事業内容/当社グループの特徴)

2

2026年9月期 第2四半期実績

8

3

2026年9月期 セグメント別実績

11

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

4

株主還元策について

19

株主還元策について

2026年9月期 分割並びに増配

普通株式分割	1 : 3
1 株当たり配当金	14円00 銭 分割前換算 40円 ➡ 42円

基本方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の重要戦略のひとつとして位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

株式分割並びに配当予想の修正

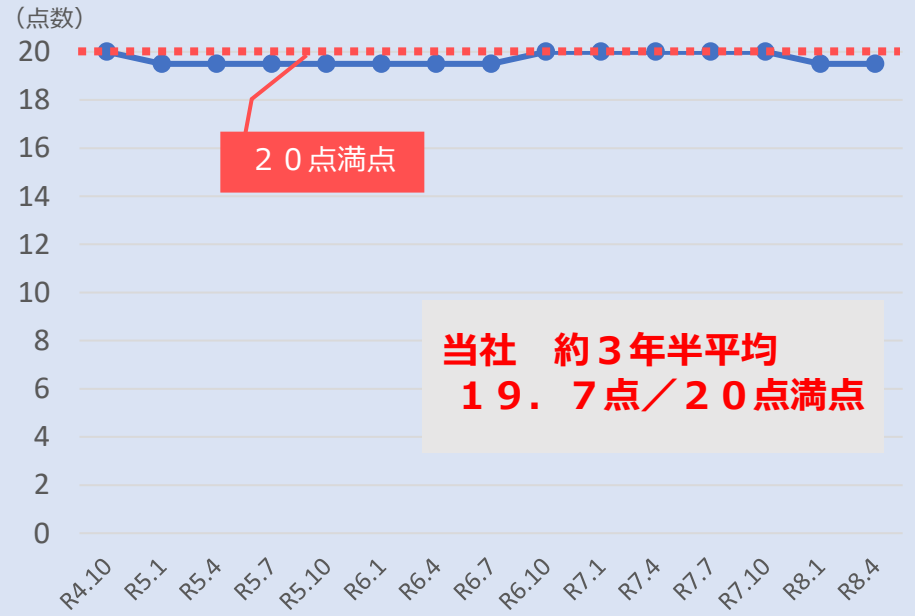
当社は、2026年6月30日(火)時点の株主様に対して、2026年7月1日(水)効力発生の株式分割を1対3で行います。それに伴い、配当予想の修正（増配）を行います。

建設事業の強みは高い技術力

成友興業の高い技術力が次の受注に繋がる



成友興業の技術点の推移



～ くるみん認定の取得 ～

育児休業の取得促進や働きやすい職場環境づくり、子育てと仕事の両立を支援する取り組みが評価され、くるみん認定を取得しました。



本資料における注意事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。また当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、当社の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。